

京都働き世代の 健康データブック

こころとからだのサステナビリティ

 全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ



経営者・従業員のみなさま

近年、人手不足や従業員の高齢化が深刻さを増す中で、従業員の健康リスクに着目した「健康経営」に注目が集まっています。

健康経営とは企業が従業員の健康リスクを経営課題としてとらえ、戦略的に改善策を実行していく経営手法です。

健康経営に取り組み、従業員に長く働いてもらうことで、人手不足対策や、生産性の向上、組織の活性化などが見込めます。

しかし、健康リスクと一口に言っても、その内実は業態によって様々。そこでこの冊子では、協会けんぽに加入する様々な業態の事業所の健康データを分析し、業態ごとに比較することで、業態（働き方）特有の健康課題を見える化しています。

あわせて、実際に健康経営に取り組む企業を取材し、健康経営によって起こった社内の変化についてもご紹介いたします。

著名な経営者の言葉に「企業は人なり」というものがありますが、活気のある企業は、健康で活力のある従業員があつてこそです。

健康を意識した働き方や企業作り、健康経営のために、ぜひこの冊子をご活用ください。

協会けんぽ 京都支部

もくじ

協会けんぽの概要	3
業態別健康課題と特徴	5
建設業	7
運輸業・郵便業	9
情報通信業	11
宿泊業・飲食サービス業	12
「健康経営」取り組み事例	13
建設業 西田工業株式会社(福知山市)	
健康事業所宣言 取り組みの流れ	15
分析データ集	17
業態の種類と用語集	18
業態別被保険者数の規模と平均年齢	19
業態別生活習慣病予防健診受診率	20
健康データの読み方	21
● 建設業	22
● 運輸業・郵便業	23
● 情報通信業	24
● 製造業	25
● 卸売業・小売業	26
● 医療・福祉業	27
● 宿泊業・飲食サービス業	28
● 生活関連サービス業・娯楽業	29
業態別 健康宣言 事業所	30
業態別 被保険者一人当たり生活習慣病医療費	30

協会けんぽ(全国健康保険協会)は 全国 4,000 万人の 医療と健康を支えます



協会けんぽの基本使命

全国健康保険協会は、保険者として健康保険事業及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る。

協会けんぽの運営体制

本部および 47 都道府県ごとに支部があり、支部単位で地域の実情に応じた取組を実施しています。



本部

運営委員会

事業主・被保険者・
学識経験者で構成

統括・支援

事業主・加入者の意見に基づく
自主自律の運営

都道府県支部
(全国47カ所)

評議会

地域の事業主・被保険者・
学識経験者で構成

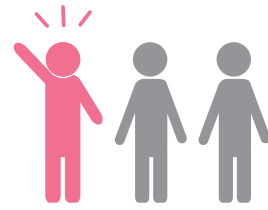
協会けんぽの事業内容

支部単位で地域の実情を踏まえ、主な事業「**保険給付**」
「**保健事業**」を健全な財政運営で実施しています。

協会けんぽの特徴

特徴 1

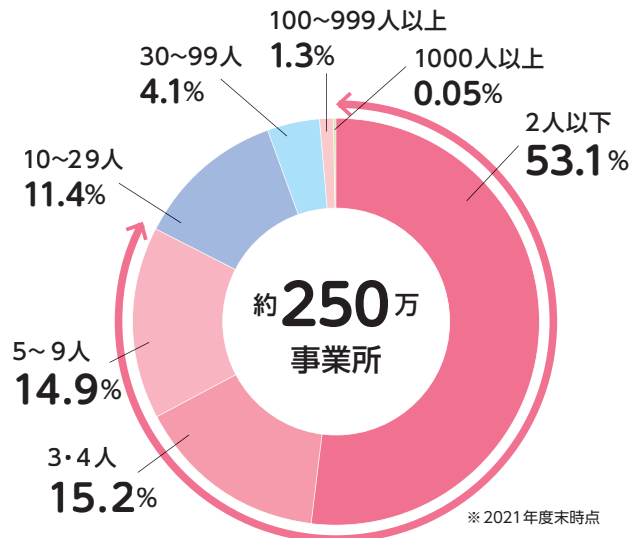
国民の約3人に1人の**約4,000万人**が加入する日本最大の医療保険者です。



国民の約3人に1人が加入

特徴 2

加入事業所の**約8割が従業員9人以下**の中小企業です。



協会けんぽの事業

01 困った時には申請を！

保険給付

- 保険証の交付
- 病気、ケガに関わる各種給付金の支給
- 出産に関わる給付金の支給 など

02 あなたの健康づくりをサポートします！

保健事業

- 生活習慣病予防のための健診・保健指導
- 医療機関への受診が必要な方へのお知らせ
- 事業主の皆さまと連携した職場の健康づくり など

03 身につけよう！上手な医療のかかり方

健全な財政運営

- ジェネリック医薬品の使用促進
- 上手な医療のかかり方の案内 など

業態別 健康課題と特徴

様々な業態の事業所の主に 2022 年度の健康データを分析・比較し、特徴的な業態をピックアップしました。皆さまの事業所の業態や働き方と照らし合わせて、健康づくりの参考にしてください。



建設業

P7 ▶▶

- ✓ 男性の喫煙率が高い
- ✓ 健診受診率が低い
- ✓ 男性の健康リスクが高い
- ✓ お酒を飲む頻度・量が多い
- ✓ 生活習慣病医療費が全業態でトップ



運輸業・郵便業

P9 ▶▶

- ✓ 男性の平均年齢が高い
- ✓ 健康リスクが高い
- ✓ 喫煙率が高い
- ✓ 運動不足、就寝前2時間以内の夕食、朝食を欠食する人が多い
- ✓ 健康経営、健康事業所宣言に取り組む事業所が多い



情報通信業

P11 ▶▶

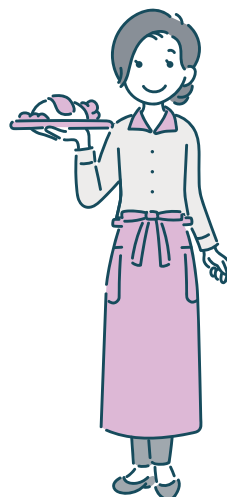
- ✓ 平均年齢は最も低い
- ✓ 20歳の時の体重に比べて10kg以上増加した人の割合が高い
- ✓ 生活習慣病医療費が高い
- ✓ 男性のメタボ、脂質の健康リスクが高い



宿泊業・飲食サービス業

P12 ▶▶

- ✓ 就寝前2時間以内の夕食、朝食を欠食する人が多い
- ✓ 喫煙率が高い
- ✓ お酒を飲む頻度・量が多い



分析
結果

建設業

男性の
喫煙率が高い



健診受診率が低い



生活習慣病医療費が
全業態でトップ



お酒を飲む
頻度・量が多い



男性の
健康リスクが高い



健康メモ 【ベジファースト】

言葉の通り野菜を最初に食べることで、食物繊維を摂って糖質の吸収をコントロール。生活習慣病、肥満が気になる方にはベジファーストの食べ方がおすすめです。

特徴 01 健診(生活習慣病予防健診)受診率が低い

生活習慣病予防健診は、労働安全衛生法の定期健診(法定健診)だけでは受けられない各種がん検診(胃・大腸・乳・子宮)が含まれています。受診費用の補助(約7割)があり、がん等の病気の早期発見、早期治療に繋がりますので、従業員の健康管理のためにも法定健診から生活習慣病予防健診への切り替えをお願いします。

特徴 02 男性の健康リスクが高い

建設業には総合工事業、職別工事業、設備工事業と様々な業態があり、また職種も現場作業、施工管理、事務、営業、設計等と働き方は様々です。今回の分析データは建設業全体の平均値なので、一概にどの業態、職種で健康課題が多いのかまでは把握できていません。事業所ごとに事業所健康度カルテ等を活用し、従業員の働き方に合わせた健康づくりに取り組むきっかけにしてください。

特徴 03 男性の喫煙率が高い

喫煙には様々な病気のリスクを高める確実なエビデンスがあります。中性脂肪やLDL(悪玉)コレステロールの増加、HDL(善玉)コレステロールの減少にも関連しており、また、動脈硬化が進み、脳血管疾患や心筋梗塞、がんの発症リスクが高まります。従業員の喫煙(受動喫煙)対策としては、就業時間中は禁煙にする等のルールを設定することや、事務所や現場で喫煙所を設定することが効果的です。従業員への禁煙支援として、禁煙外来や禁煙補助剤の費用補助を行う事業所もあります。

特徴 04 お酒を飲む頻度・量が多い

運動習慣は他の業態に比べて良い傾向ですが、飲酒習慣に課題が見られます。昔から「酒は百薬の長」と言われ、適量なら動脈硬化の予防にも役立つといわれていますが、「飲みすぎ」やおつまみの「食べ過ぎ」等の習慣があると肥満に繋がり、中性脂肪の増加や高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管疾患等の原因にもなります。翌日も安全・健康に仕事ができるように、適量で適切なお酒の飲み方を守りましょう。また質の良い睡眠のために、就寝の2~3時間前にお酒と食事を済ませましょう。

特徴 05 生活習慣病医療費が全業態でトップ

喫煙や飲酒の生活習慣だけでなく、他の運動習慣や食習慣も影響しています。従業員一人一人の健康をサポートするためにも、まずは健康経営の取り組み「健康事業所宣言」から始めてみましょう。建設業界において、いち早く健康事業所宣言された事業所の取り組み事例を紹介していますので、ぜひこちらの記事も参考にしてみてください。

コラボヘルス

「健康事業所宣言」がもたらす企業価値の向上

▶ <https://kyoukaikenpo-kyoto-hoken.jp/sengen/>



分析
結果

運輸業・郵便業

喫煙率が高い



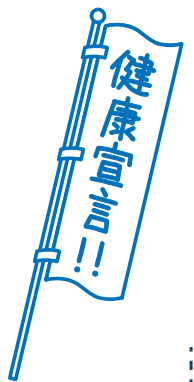
健康リスクが
高い

男性の
平均年齢が高い

運動不足、
就寝前2時間以内の夕食、
朝食を欠食する人が多い



健康経営、
健康事業所宣言に
取り組む事業所が多い



健康メモ [質の高い睡眠]

「仕事が忙しい」「時間がない」などで睡眠時間を取れていない事はありませんか？
睡眠は脳と身体の疲れを緩和する最大のストレス解消法です。

特徴 01 男性の平均年齢が高い

一般的に高齢になると様々な病気、健康のリスクが高まりますが、多くの高齢の従業員が元気にフルタイムで働いている事業所もあります。高齢でも仕事を続けることができるのは「健康」であるからに他なりません。そのため事業所として、**従業員の健康づくりに取り組むことが重要です。運輸業はもちろん、高齢の従業員が多い事業所は、ぜひこちらの記事を参考にしてみてください。**

コラボヘルス

「最近、どう？」命を運ぶドライバーへの健康キーワード。
京都の足となるタクシー業界では、「健康改革」が始まっています。
▶ <https://kyoukaikenpo-kyoto-hoken.jp/kenkoujigyoushosengen/>



特徴 02 健康リスクが高い

特に男性就業者の平均年齢が高いことから、健康リスク保有者も多くなる傾向にあります。しかし今回のデータ分析では年齢の影響を除外（年齢調整）しているため、運輸業特有の働き方や生活習慣が健康リスクに影響していると考えられます。

特徴 03 喫煙率が高い

運輸業の就業者はドライバーが多いため、休憩所などに立ち寄った際の喫煙が習慣になりやすい環境にあります。喫煙率の高さには、そうした労働環境の影響も考えられます。喫煙には様々な病気のリスクを高める確実なエビデンスがあるため、従業員が安全・健康に長く働けるように、事業所として**勤務時間中の喫煙ルールや禁煙啓発等、出来る取り組みから始めてみてはいかがでしょうか。**

特徴 04 運動不足、就寝前2時間以内の夕食、朝食を欠食する人が多い

ドライバーの多い運輸業では、翌日の仕事に影響のある飲酒習慣では良い傾向が見られますが、運動習慣と食習慣が課題となっています。ドライバーは運転のために座りっぱなしのことが多く、運動不足になりがちです。座っている時間が長いことで、血流の悪化や、代謝の低下を引き起こし、死亡リスクや循環器疾患発症リスクが高まります。**待機しているときに車の外に出て立ち上がる等、まずは座り続けられないように気をつけましょう。**



健康経営、健康事業所宣言に取り組む事業所が多い

運輸業は従業員の健康状態が大きな事故に直結することから、従業員の健康づくりに対する意識が高く、健康経営、健康事業所宣言に取り組む事業所が多いのではないのでしょうか。
運輸業はもちろん、その他の業態でも安全・健康に毎日仕事ができるように、まず協会けんぽの「健康事業所宣言」から始めてみましょう。

分析
結果

情報通信業

20歳の時の体重に比べて
10kg以上増加した人の
割合が高い

男性のメタボ、
脂質の健康リスクが高い

平均年齢は最も低い

生活習慣病医療費
が高い



特徴

平均年齢は男女とも最も低い、運動不足の人が多く、
メタボ、脂質リスクが高い

全業態の中でも従業員の平均年齢は低いのですが、健康リスクのうち、男性のメタボ、脂質リスクが高くなっています。生活習慣では男女とも「運動不足」で「20歳の時の体重から10kg以上増加している人」が多くなっています。入社後の生活習慣の変化により運動習慣も減ってしまい、その結果、体重変化も大きくなっているのではないのでしょうか。

体重の増加は摂取エネルギーが消費エネルギーを上回っていることを意味しています。また、20歳の時の体重から10kg以上増えている人は、増えていない人と比べて糖尿病等のリスクが高いことも分かっています。

該当する人は**体重増加のきっかけを振り返り、運動、食事、睡眠、喫煙等の生活習慣の改善を考えましょう。**

分析
結果

宿泊業・ 飲食サービス業

喫煙率が高い

就寝前2時間以内の夕食、
朝食を欠食する人が多い

お酒を飲む頻度・
量が多い

特徴

就寝前2時間以内の夕食、朝食を欠食する人が多く、
お酒を飲む頻度・量も多い

宿泊業や飲食店等の被保険者（従業員）は、他の業態に比べて人数は少ないですが、男女ともに食習慣、飲酒習慣が課題となっています。

データでは男女とも「就寝前2時間以内に夕食をとる」ことが多くなっていますが、寝る前の食事は、肥満や高血糖、脂質異常につながりかねません。

こうした食習慣は、夜遅くまでの勤務がある飲食店や、不規則な勤務形態になりやすい宿泊業特有の課題だと考えられます。対策として早めの時間に夕食をとる、あるいは夕方に軽食をとり、夜は控えめに
する、といった方法を試してみてもはいかがでしょうか。

健康宣言 取り組み事例 建設業

取り組みを継続することで、 従業員の健康意識にも変化

西田工業株式会社(福知山市)
担当者：総務部 副部長 岡本 寛明

健康経営、健康宣言のきっかけは？

健康経営に取り組む以前は、従業員の高齢化に伴い、生活習慣病関連（血圧、血糖値等）のリスク保有者が多くなり、約半数がいずれかの項目で再検査に該当している状態にありました。

2018年5月、従業員に健康で安全に働いてもらうために弊社社長が健康経営に取り組む方針を打ち出し、全社会議において全従業員に対し「健康経営」に取り組むことを宣言しました。担当者として、先ずは協会けんぽ京都支部が実施する「京（きょう）から取り組む健康事業所宣言」にエントリーし、健康経営をスタートしました。



01

健診結果を放置せず、特定保健指導、医療機関への受診に繋げる

健康診断については全従業員が受診しています。健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクがある従業員は「特定保健指導対象者」となり協会けんぽの保健師、管理栄養士による特定保健指導を受けてもらっております。

これまでの保健指導は直接訪問での面談のみでしたが、昨今はオンライン面談も可能となり、勤務形態や時間に合わせて実施しやすくなりました。又、健診結果の医師による意見聴取を実施しており、併せて従業員の多数が該当する「再検査・要精密検査」対象者については、健康づくりの担当者が再検査の受診勧奨を積極的に行っております。健診結果を放置せず、医療機関で受診していただく働きかけとして、全体周知するだけでなく、対話により一人一人に声かけをするよう心がけております。

積極的にかつ継続的にコミュニケーションをとるようすることで、話をする場が従業員の健康状態を確認できる良い機会となり、今年の再検査の受診率は約90%まで上昇しました。継続的な取り組みが健康意識の向上につながり、成果に表れてきたと実感しております。

02

健康宣言後の社内の変化 社内のコミュニケーションのテーマに「健康」

目に見える成果としては再検査受診率の向上が大きいです。社内での従業員同士の会話の中で、「健康」をテーマにした話題が増えてきたことも健康経営の取り組みの成果の一つだと感じています。「健康」をテーマにコミュニケーションが取れることは身体的な健康はもちろん、心（メンタル）の健康にも効果があると思っています。

弊社も今年は新入社員を迎えることができましたが、若手の人材不足が課題となっている建設業界の中において、健康経営の取り組みが建設業界のイメージアップにつながる活動になればと思っています。

03

今後は従業員のストレス対策に注力

現場での施工管理、事務作業等、様々な職種の従業員がおり、仕事上での人間関係等で強いストレスを受けることが多くなってきていると感じます。取り組みとして「心身のリフレッシュ」を目的として、全社員参加型のボウリング大会等のイベントを開催し、コミュニケーションの活性化を図っております。又、年に一度ストレスチェックを実施する等、今後も従業員のメンタルサポートを継続的に取り組んでまいります。



04

健康経営、健康づくりの取り組みのポイントは「継続」

健康経営は取り組み始めてもすぐに成果がでるものではありません。しかし、始めた当初は成果が出なくても、取り組みを継続させることで従業員にも健康に対する意識が芽生えてくるものと思っています。今後も健康づくり担当者として新しいことに取り組んでまいります。

※取材日：令和5年11月



健康事業所宣言

健康経営で好循環を作ります!!

リスクマネジメント

- 休業による労働損失の軽減
- 業務中の疾病・事故防止

従業員の活力向上

- コミュニケーションの活性化
- 社内の雰囲気改善

生産性の向上

- モチベーションの向上
- 業務効率の向上

企業価値の向上

- 企業イメージの向上
- 社会的信用の向上
- 従業員採用時のアピール

「健康経営®」とは

従業員の健康を重要な経営資源と捉え、積極的に従業員の健康づくりに取り組むことで会社の生産性向上を目指す経営手法のことです。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です


健康事業所宣言 取り組みの流れ

かんたん 3 ステップ



「健康事業所宣言エントリーシート」の提出

健康事業所宣言取り組み項目一覧表

必須項目	法令に従い、健診を100%受診します	特定保健指導実施率(初回)を前年度以上とします ※特定保健指導の対象者がおられる場合に限りです。	健診結果が再検査・要治療者だった従業員には医療機関の受診を促し、重症化予防に努めます
オリジナル項目	貴社で取り組む内容を 2項目以上選び 、「健康事業所宣言エントリーシート」に取り組み項目の番号を記入してください。		

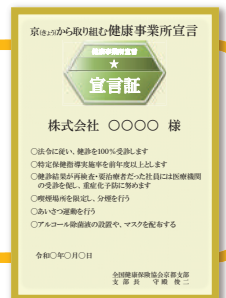
健康づくりの目標・取り組み内容を記入し、協会けんぽ京都支部に FAX または郵送でご提出ください。協会けんぽ**京都支部から宣言証を交付します。**

※ご提出いただいてから2~4週間程度で発送いたします。

STEP 01

宣言証の掲示

宣言証を社内の目立つところやホームページに掲示して、従業員の健康づくりに取り組むことを宣言します。また、従業員や社外の皆さまにご紹介をお願いします。



STEP 02

健康づくりメニューへの取り組み

健康事業所宣言取り組み項目一覧の**必須項目・オリジナル項目**にもとづいて実践しましょう!

STEP 03

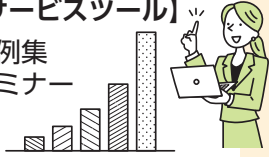
健康事業所宣言を **ステップアップ!**

Action

ステップアップのための改善評価に基づき、次のPDCAに繋がる取り組み改善

【協会けんぽサービスツール】

- ・健康経営事例集
- ・健康経営セミナー



Plan

健康課題の把握、目標設定
まずは自社の健康課題を把握して、無理のない目標を設定

【協会けんぽサービスツール】

- ・事業所健康度カルテ
- ・取り組みチェックシート
- ・健康事業所宣言エントリーシート

PDCAを回した 健康経営の実践

Check

取り組みの評価
取り組みの効果を経年で比較する等して評価

【協会けんぽサービスツール】

- ・生活習慣病予防健診
- ・事業所健康度カルテ
- ・取り組みチェックシート (振り返り)



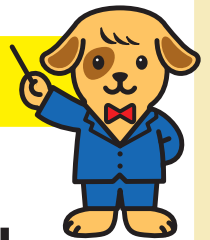
Do

プランに沿った取り組み
事業所が主体となった健康づくりの取り組みの実施

【協会けんぽサービスツール】

- ・健康講座
- ・健康測定機器レンタル
- ・特定保健指導
- ・メールマガジン配信 (健康情報)

更なる保健事業の充実



いっぽくん

令和5年
4月
スタート!

生活習慣病予防健診等の 自己負担の軽減

一般健診 対象:35歳~74歳の被保険者(ご本人)

最高 7,169円 ▶ 最高 5,282円

協会けんぽの生活習慣病予防健診は、
メタボリックシンドロームとともに
5大がんまでカバー!

血圧測定/血液検査/尿検査/心電図検査/胸部レントゲン検査/胃部レントゲン検査/便潜血反応検査/子宮頸がん検診/乳がん検診
子宮頸がん検診、乳がん検診は、別途自己負担が必要です。

令和6年
4月
スタート!

付加健診の 対象年齢拡大

付加健診(腹部超音波検査、眼底検査等)

令和6年4月より、付加健診の対象年齢について、**現行の40歳、50歳**に加え、**45歳、55歳、60歳、65歳、70歳も対象**になります。

最高 4,802円 ▶ 最高 2,689円

子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウィルス検査の
自己負担も軽減します。

分析データ集



業態の種類

農業・林業	農林水産業	金融業・保険業	金融・保険業
鉱業・採石業・砂利採取業	鉱業・採石業・砂利採取業	不動産業・物品賃貸業	不動産業 物品賃貸業
建設業	総合工事業 職別工事業 設備工事業	学術研究・専門・技術サービス業	学術研究機関 専門・技術サービス業
製造業	食品品・たばこ製造業	宿泊業・飲食サービス業	飲食店 宿泊業
	繊維製品製造業	生活関連サービス業・娯楽業	対個人サービス業 娯楽業
	木製品・家具等製造業	教育・学習支援業	教育・学習支援業
	紙製品製造業	医療・福祉業	医療業・保健衛生 社会保険・社会福祉・介護事業
	印刷・同関連業	複合サービス事業	複合サービス業
	化学工業・同類似業	サービス業 (他に分類されないもの)	職業紹介・労働者派遣業 その他の対事業所サービス業 修理業 廃棄物処理業 政治・経済・文化団体 その他のサービス業
	金属工業	公務(他に分類されるものを除く)	公務
	機械器具製造業 その他の製造業	士業	士業
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業		
情報通信業	情報通信業		
運輸業・郵便業	道路貨物運送業 その他の運輸業		
卸売業・小売業	卸売業		
	飲食料品以外の小売業		
	飲食料品小売業 無店舗小売業		

用語集

●生活習慣病予防健診

労働安全衛生法で定められる「定期健診」の検査項目を全て含み、がん検診（5大がん）もセットになった充実の健診です。35歳以上の被保険者を対象に、年1回費用補助を行っています。費用は総額約20,000円のうち、約7割を補助しています。

●特定保健指導

メタボリックシンドロームのリスクがある40歳以上の方を対象に健診結果や日頃の生活習慣をもとに、協会けんぽの保健師・管理栄養士が、一人一人の生活習慣に合わせた生活サポート、アドバイスを行います。

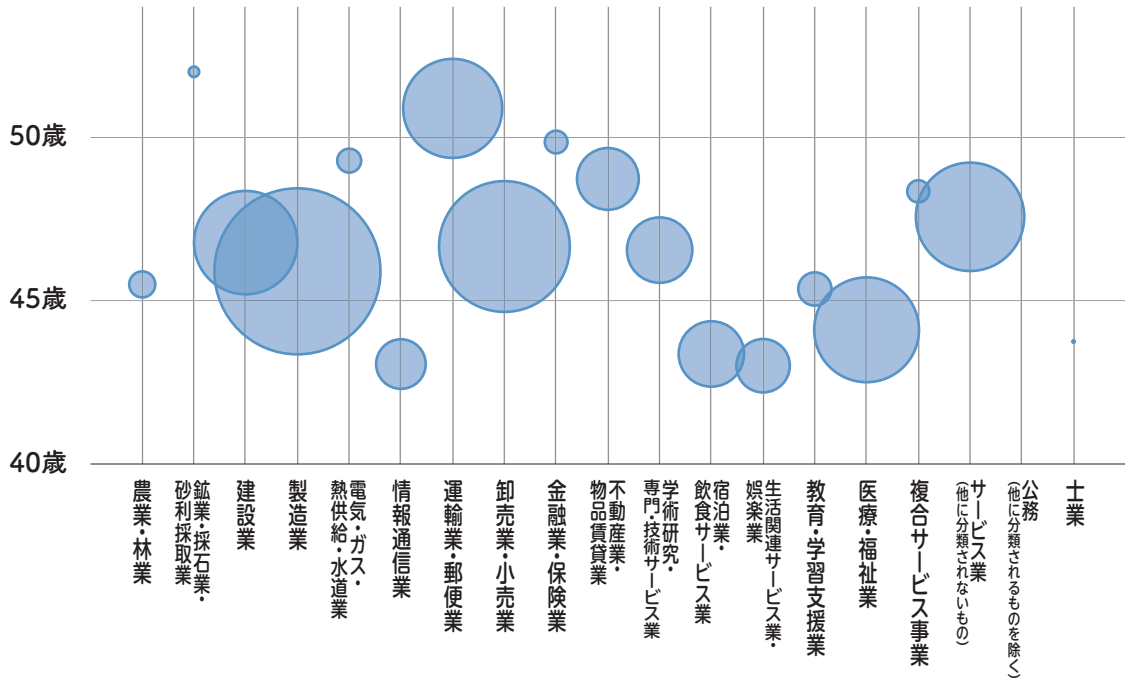
●健康事業所宣言

健康経営を実践していく第一歩として、取り組み内容や目標を社内外に明示するため、協会けんぽにエントリーシートを提出して『健康宣言』を行います。

業態別被保険者数の規模と平均年齢(2022年度)

- 業態別の規模と平均年齢が把握できます。
- 円の大きさは業態別の被保険者数の規模を表しています。

男性



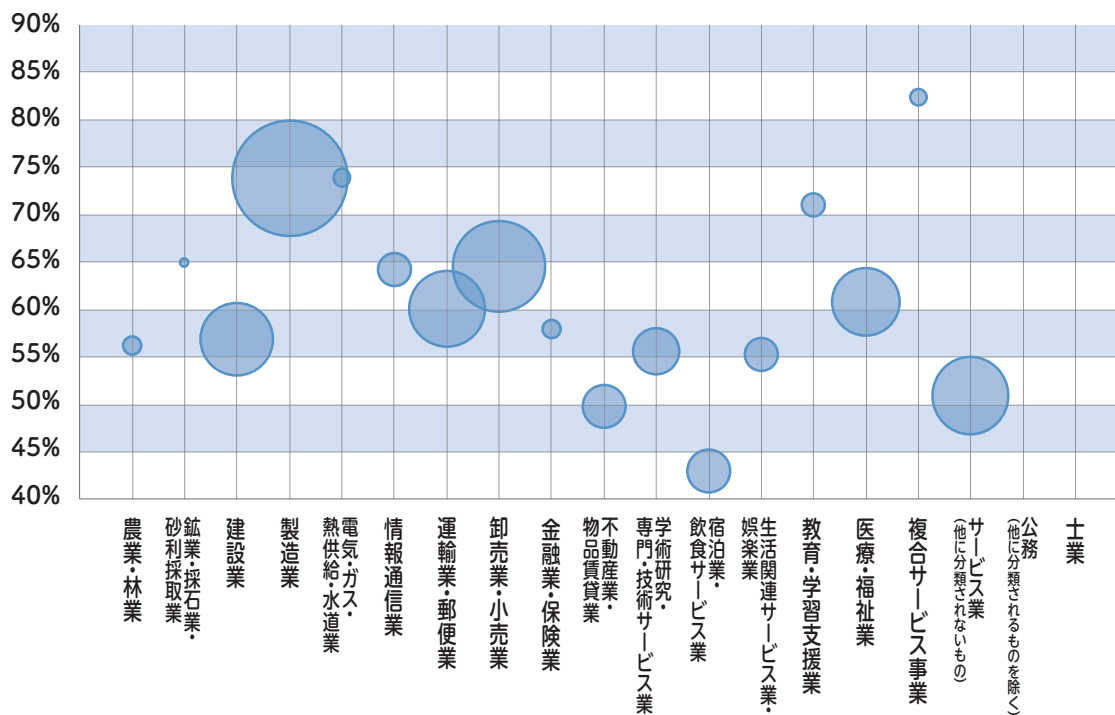
女性



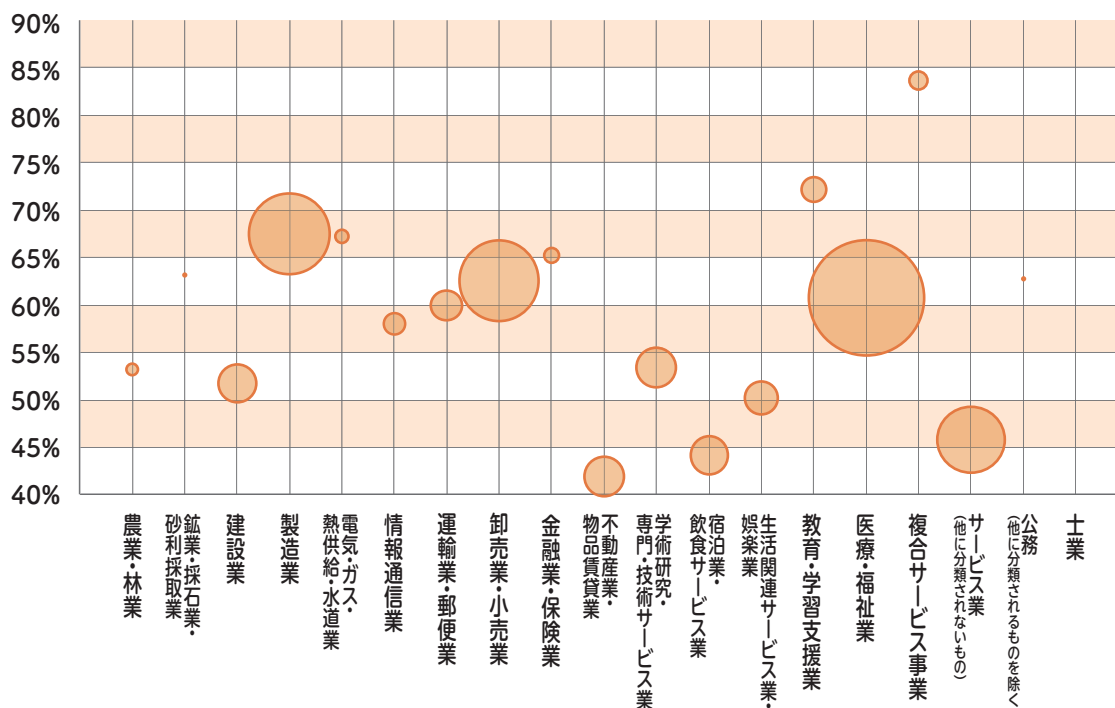
業態別生活習慣病予防健診受診率(2022年度)

- 業態別の規模と生活習慣病予防健診の受診率が把握できます。
- 円の大きさは業態別の被保険者数の規模を表しています。

男性



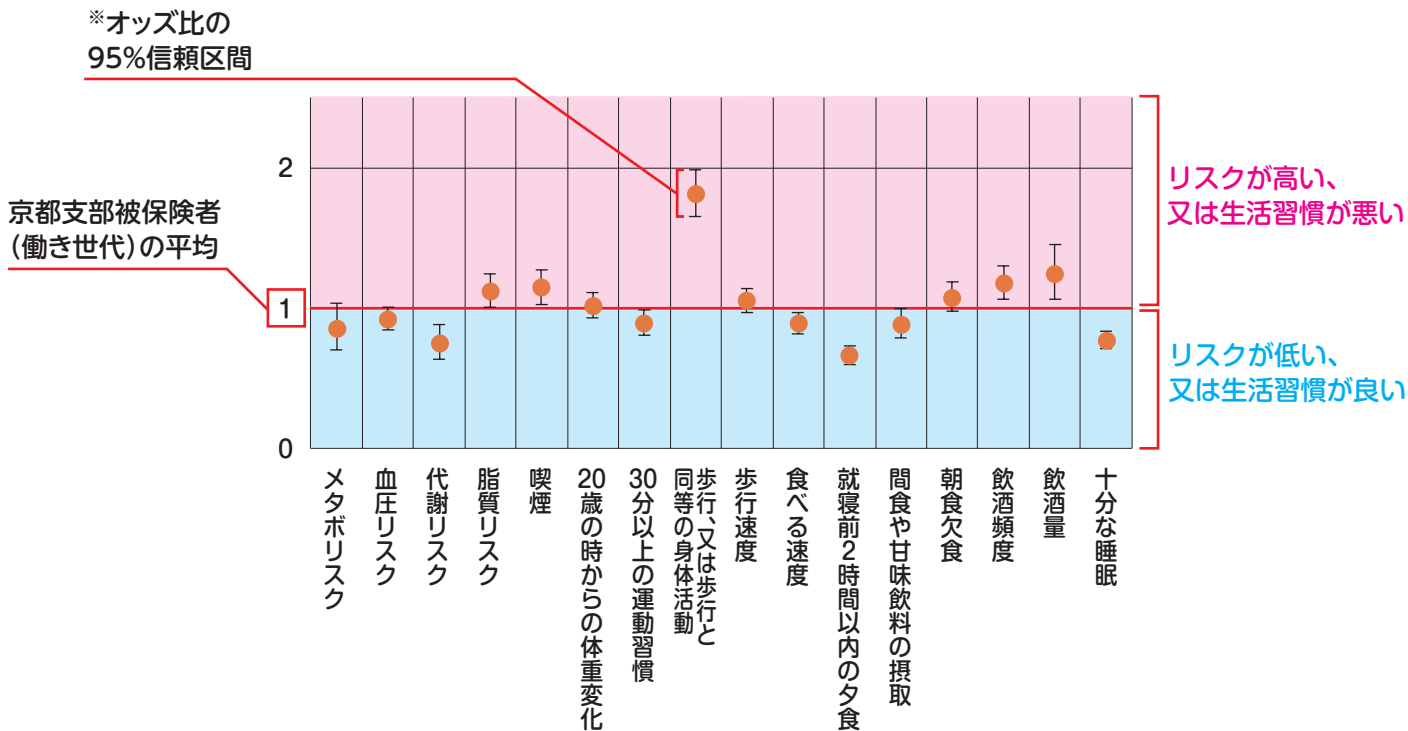
女性





健康データの読み方

事例：建設業 女性（※年齢調整オッズ比）（2022年度）



※オッズ比

オッズ比は、統計学では事象の起こりやすさを表す指標として使われています。オッズ比が「1」よりも大きいと事象が起こりやすく、小さいと起こりにくいことを表しています。

ここでは「1」が京都支部被保険者（働き世代）の平均です。

メタボリスクを例にすると、グラフ中の丸印が「1の線」より上にあるなら、その業態は京都支部平均と比べてメタボリスクが高く、「1の線」より下にあるならメタボリスクが低いことを意味します。

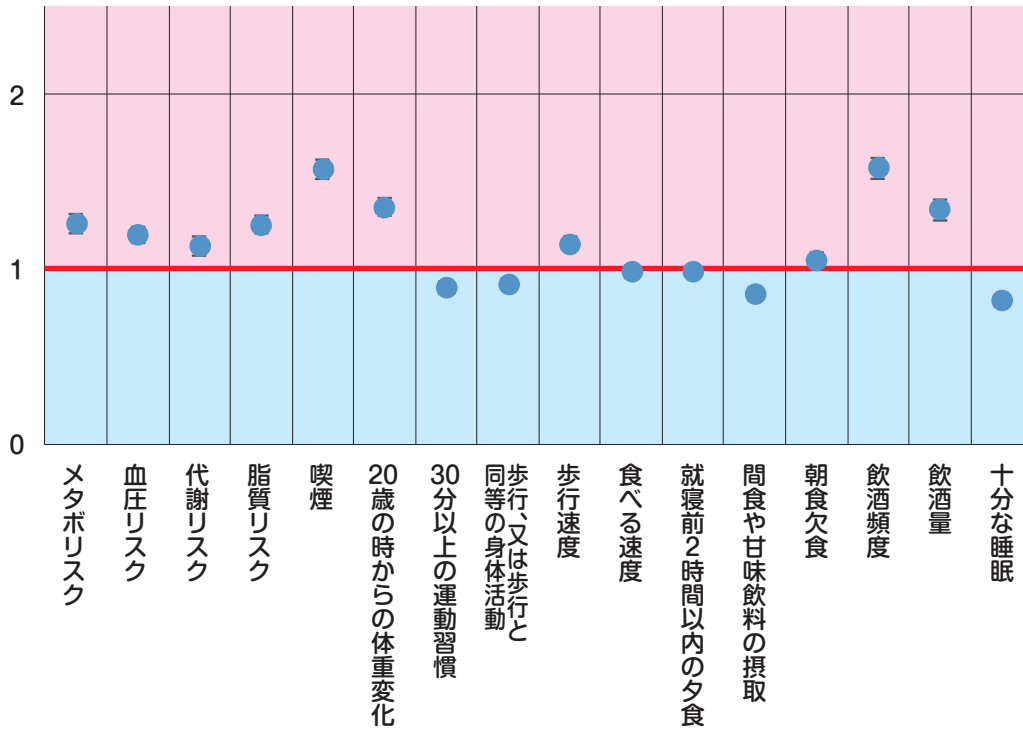
丸印を貫く縦棒は、オッズ比の95%信頼区間と言い、この縦棒と「1の線」が交わらなければ、統計学的有意差があることを示します。

※年齢調整オッズ比

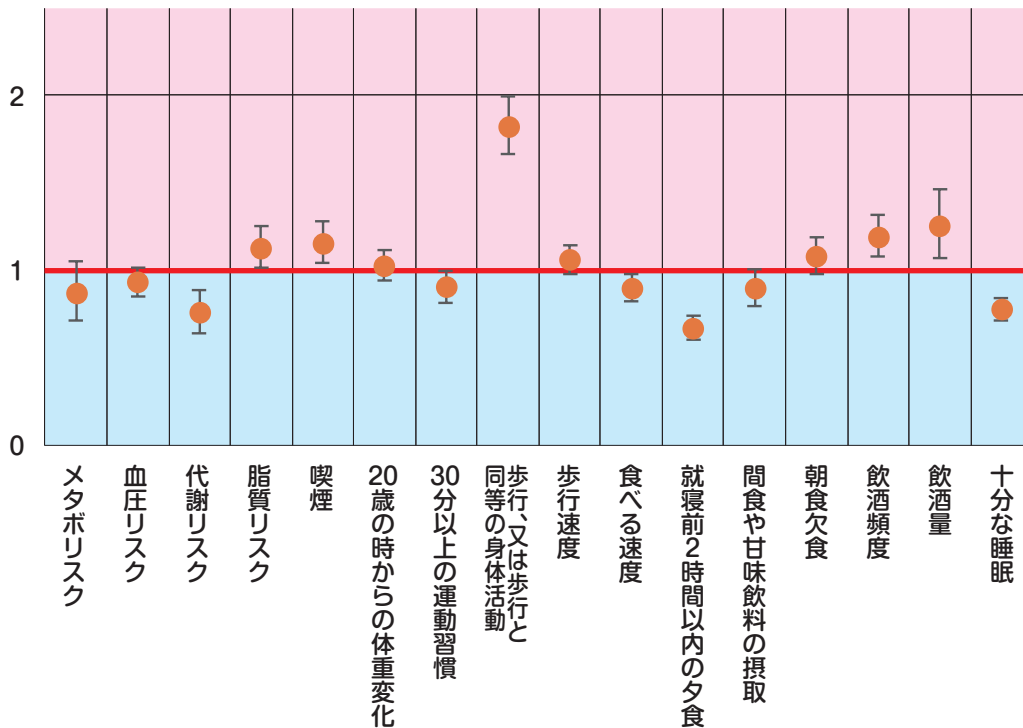
比較する業態の年齢構成が、京都支部被保険者（働き世代）の年齢構成と同じだった場合のオッズ比です。業態によって平均年齢に違いがあり、年齢調整をしなければ平均年齢の高い業態のオッズ比が高くなってしまふことがあるため、業態の平均年齢の違いを調整しています。

建設業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

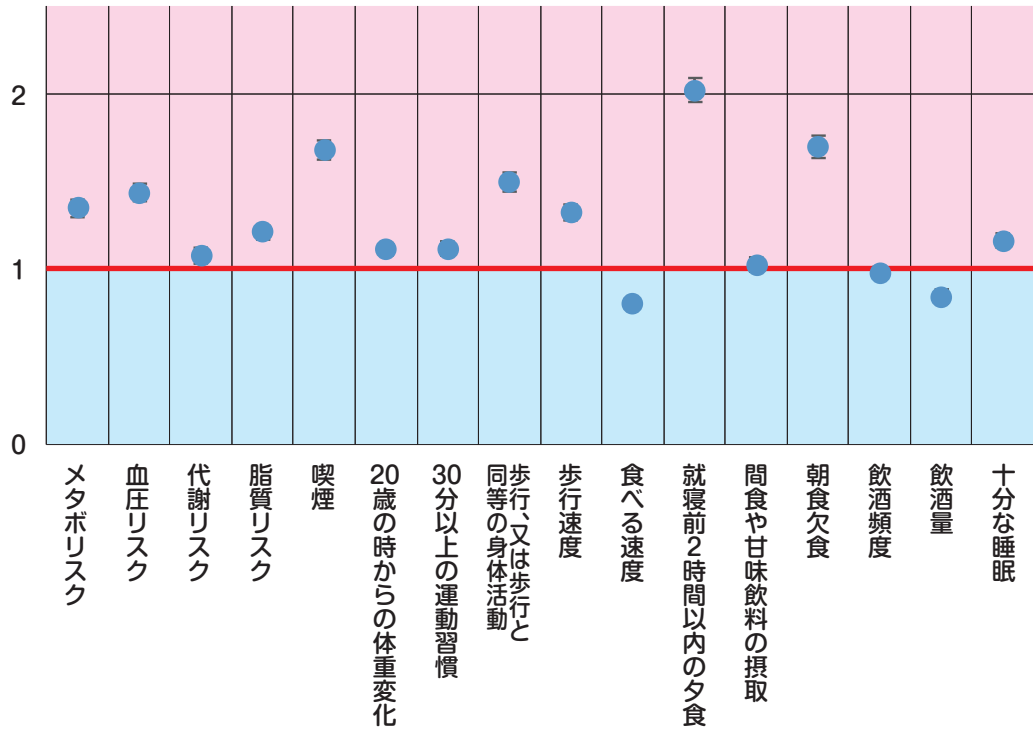


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

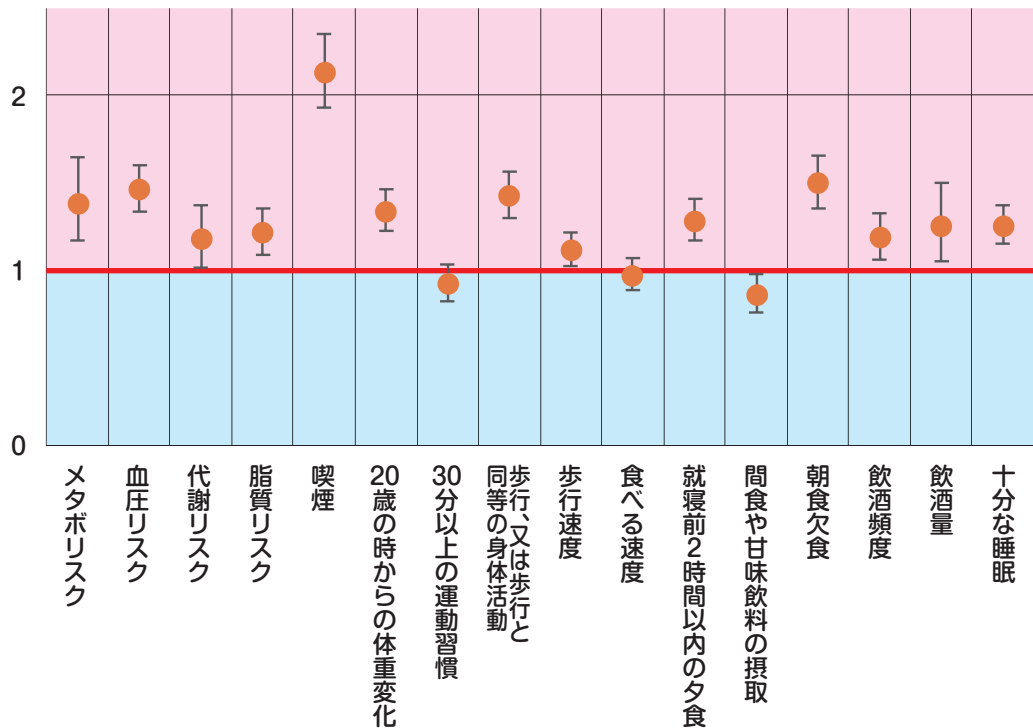


運輸業・郵便業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

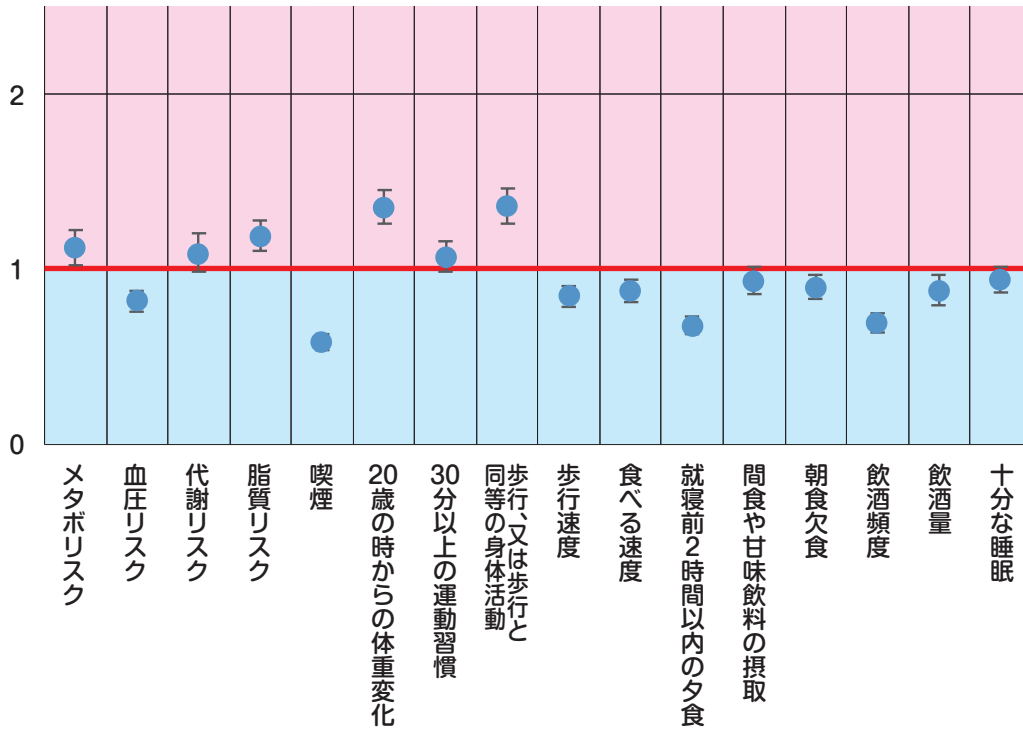


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

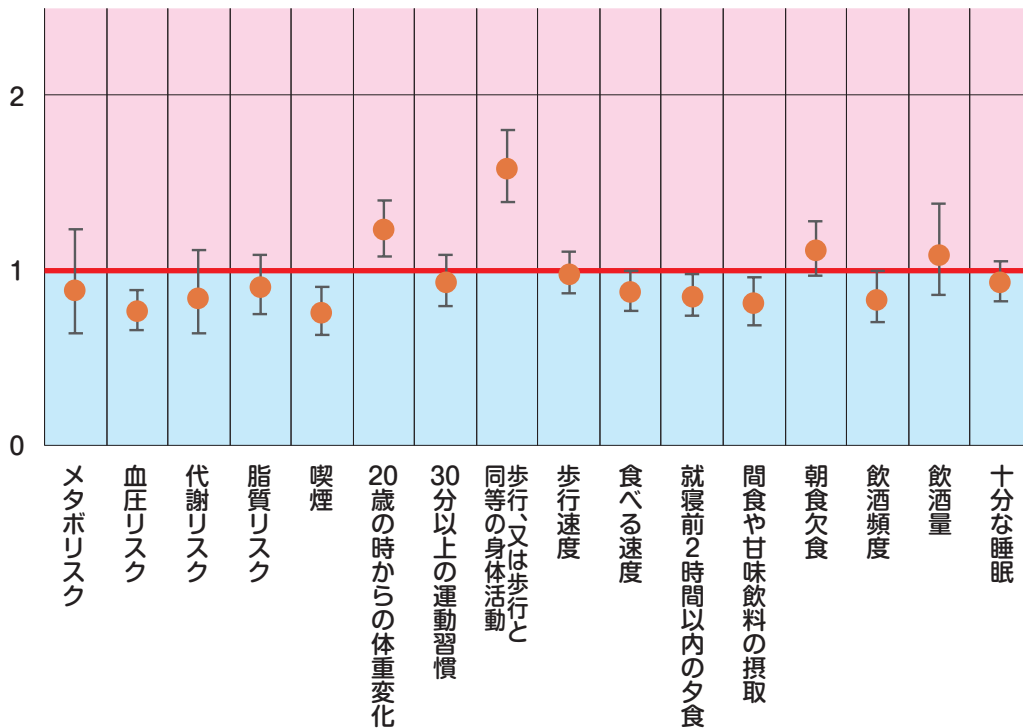


情報通信業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

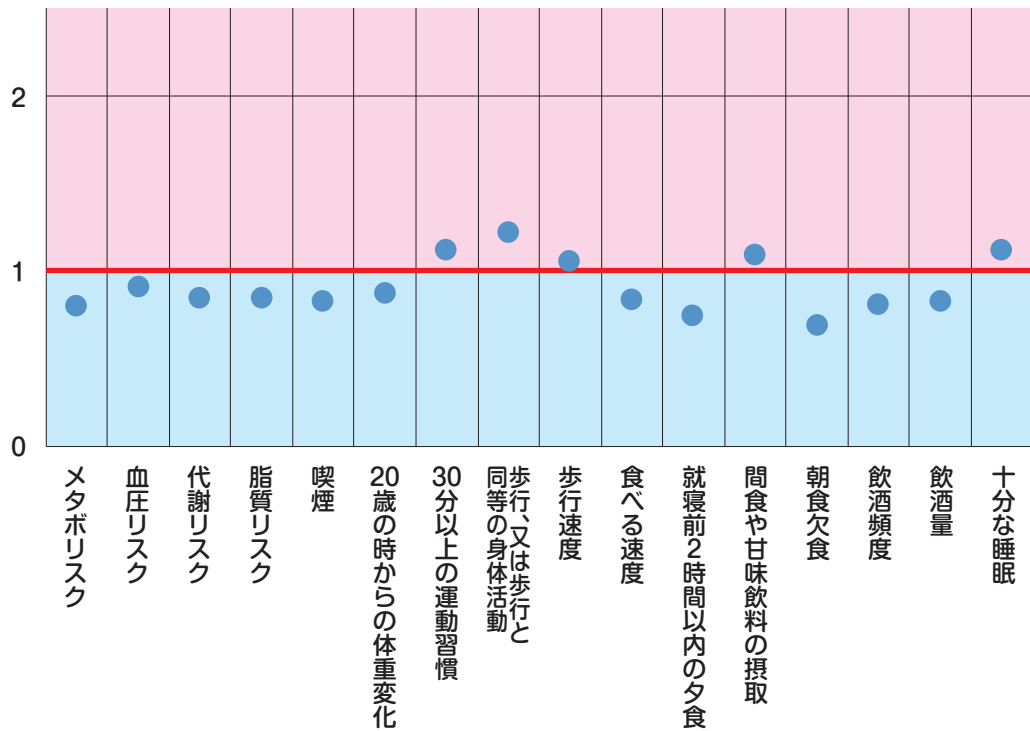


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

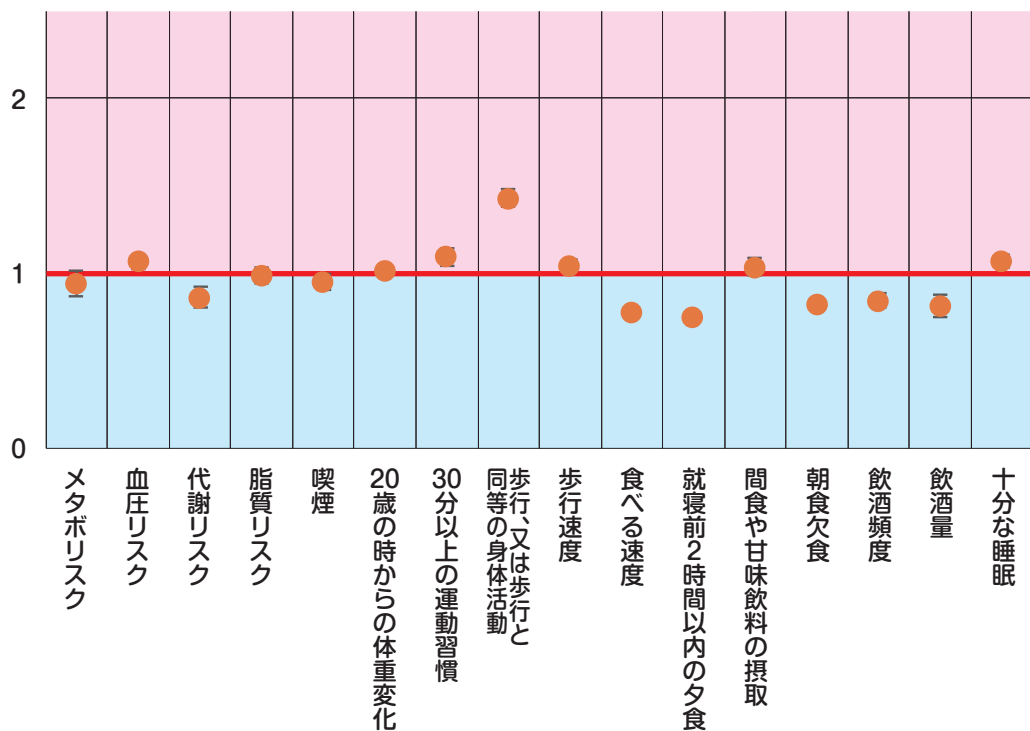


製造業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

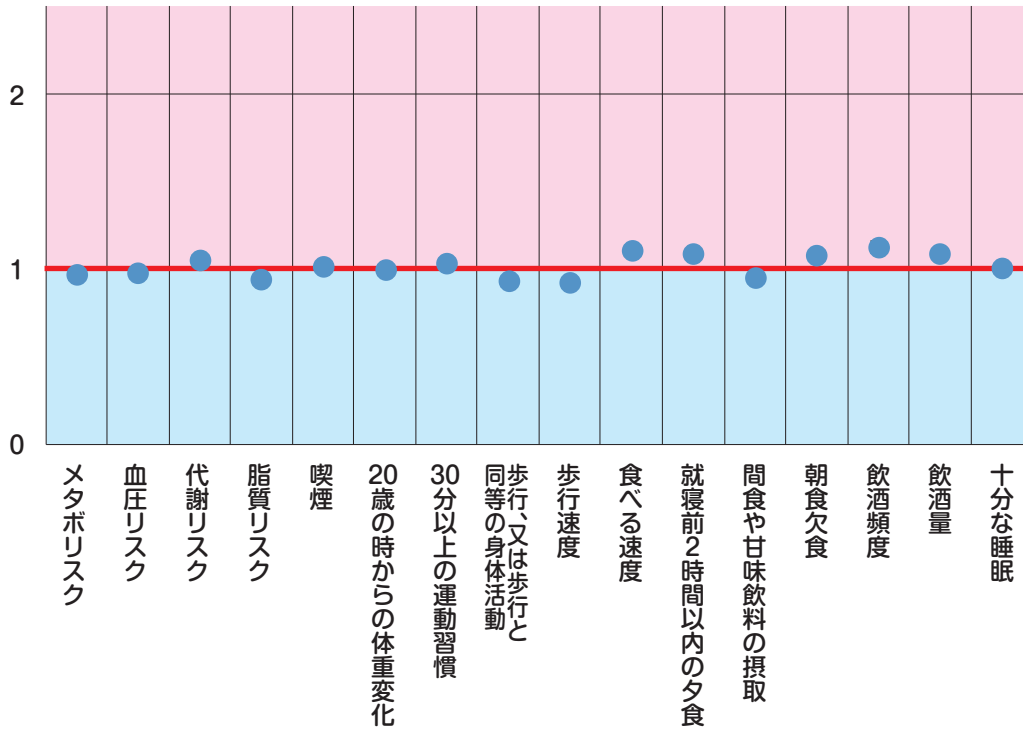


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

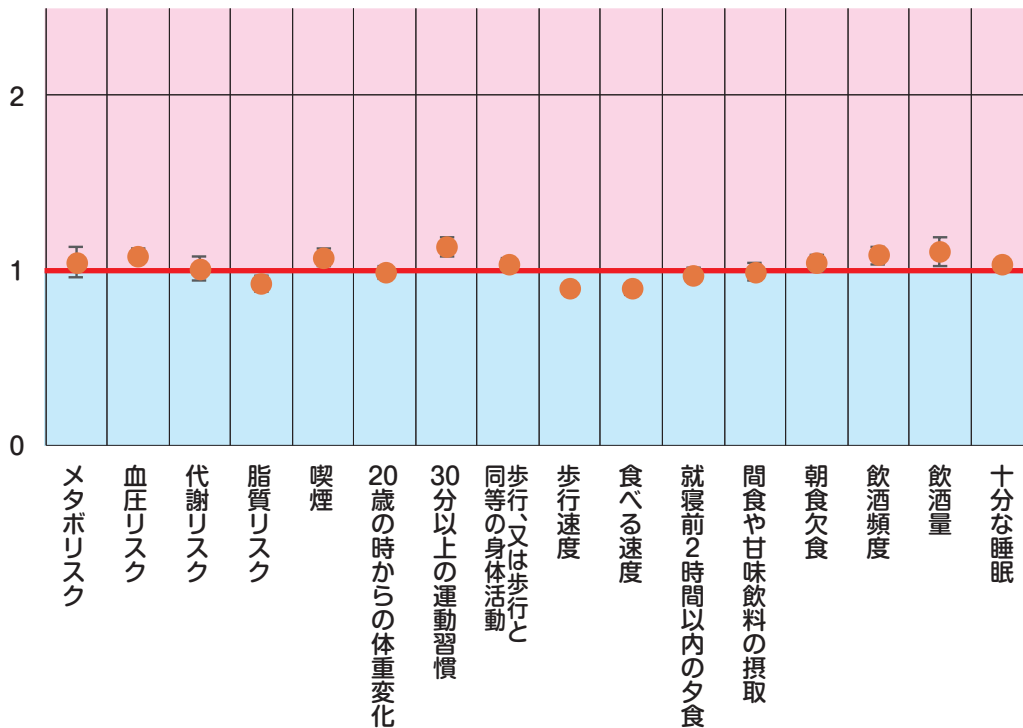


卸売業・小売業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

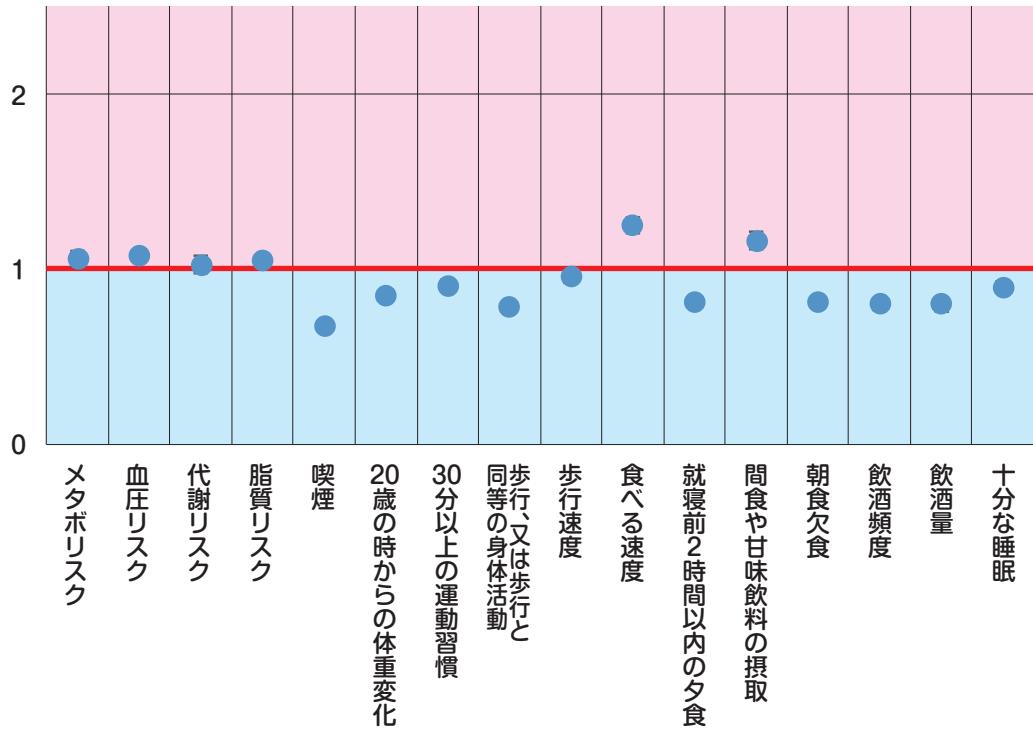


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

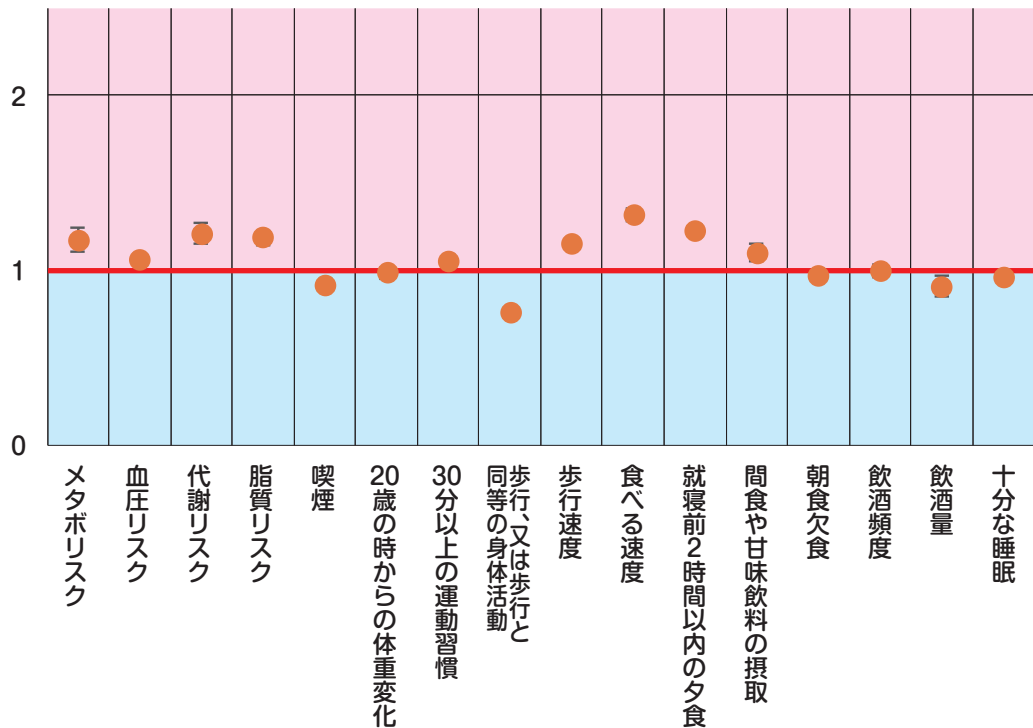


医療・福祉業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

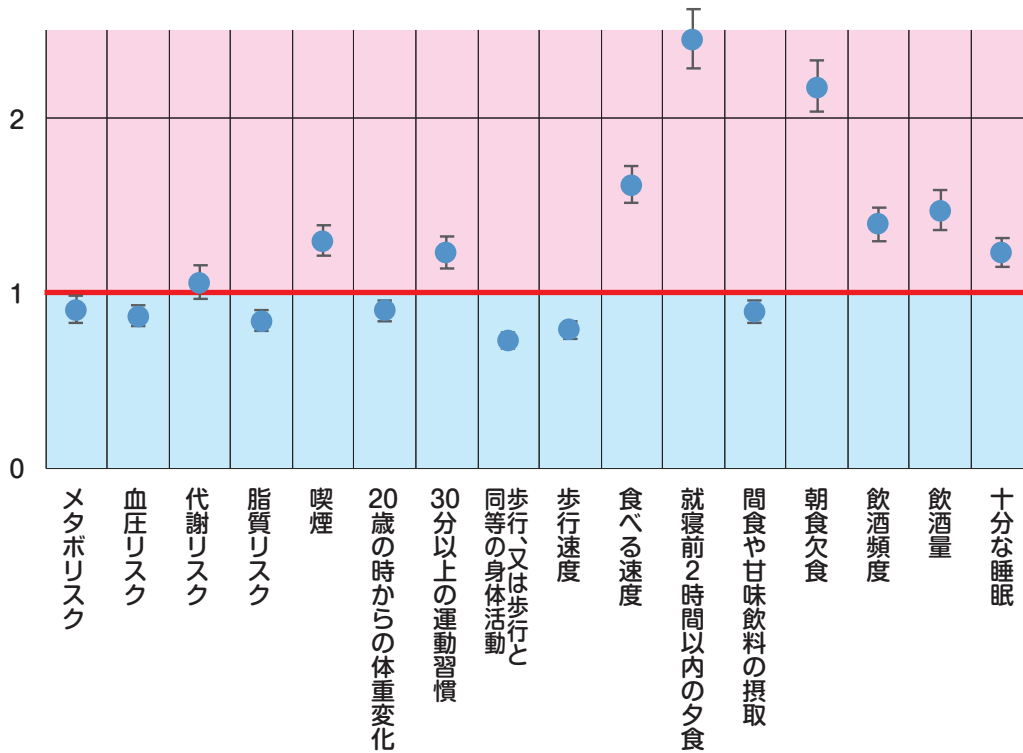


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

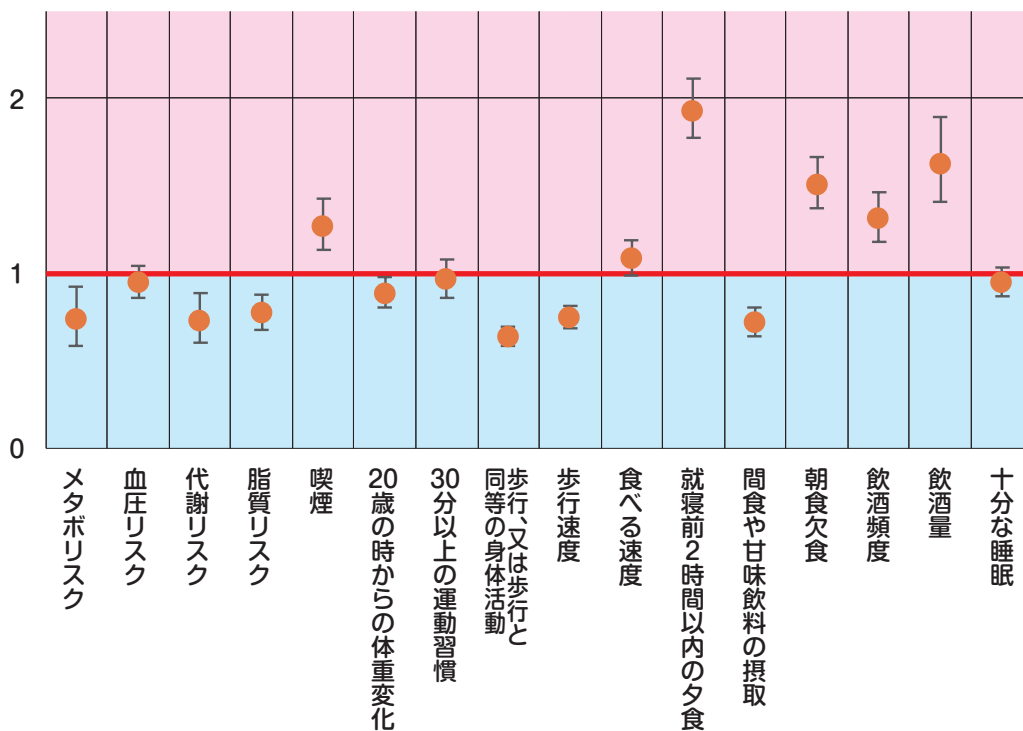


宿泊業・飲食サービス業

男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

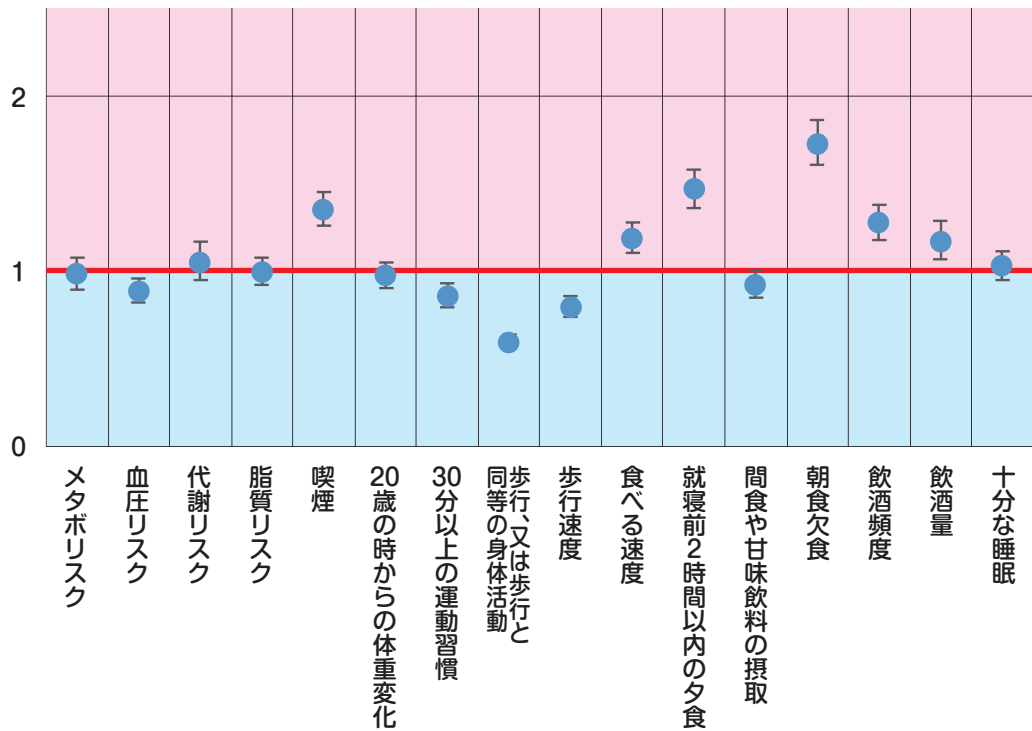


女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)

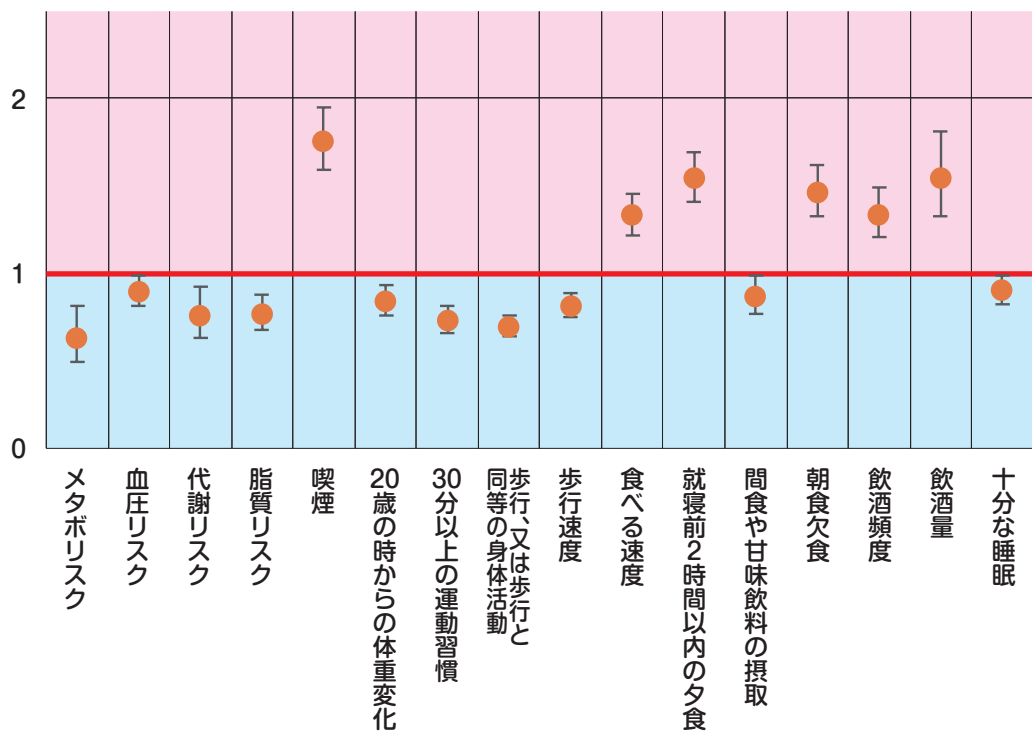


生活関連サービス業・娯楽業

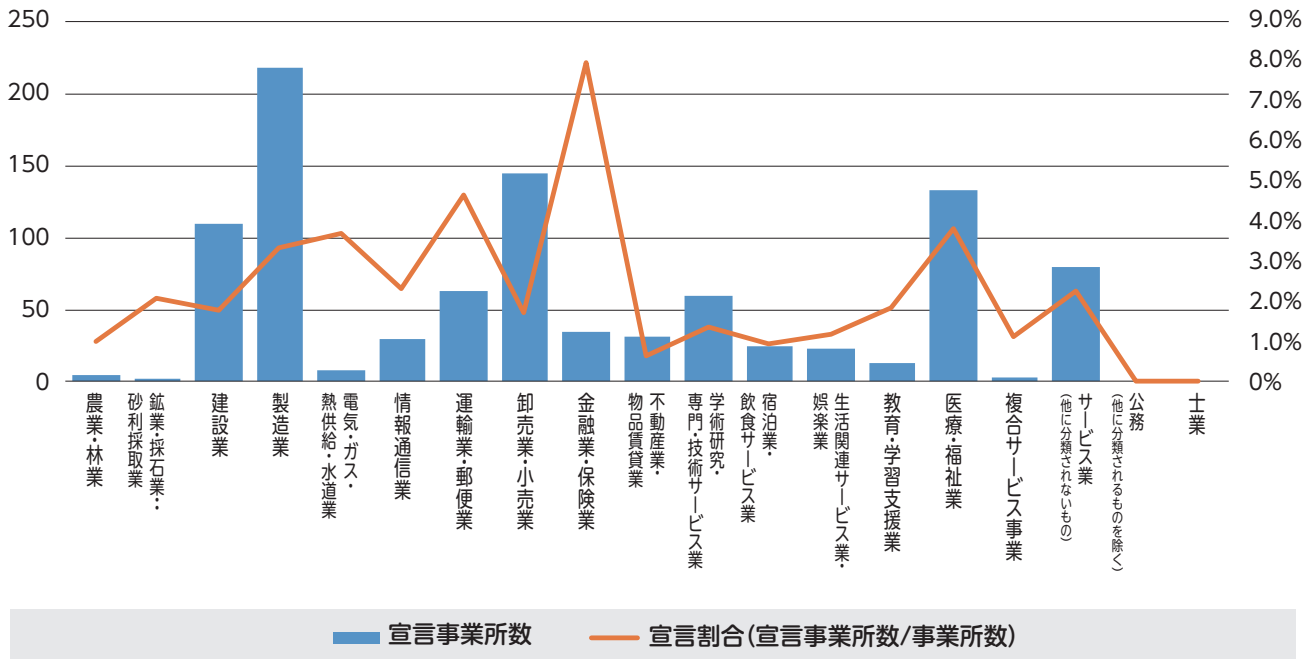
男性(年齢調整オッズ比) (2022年度)



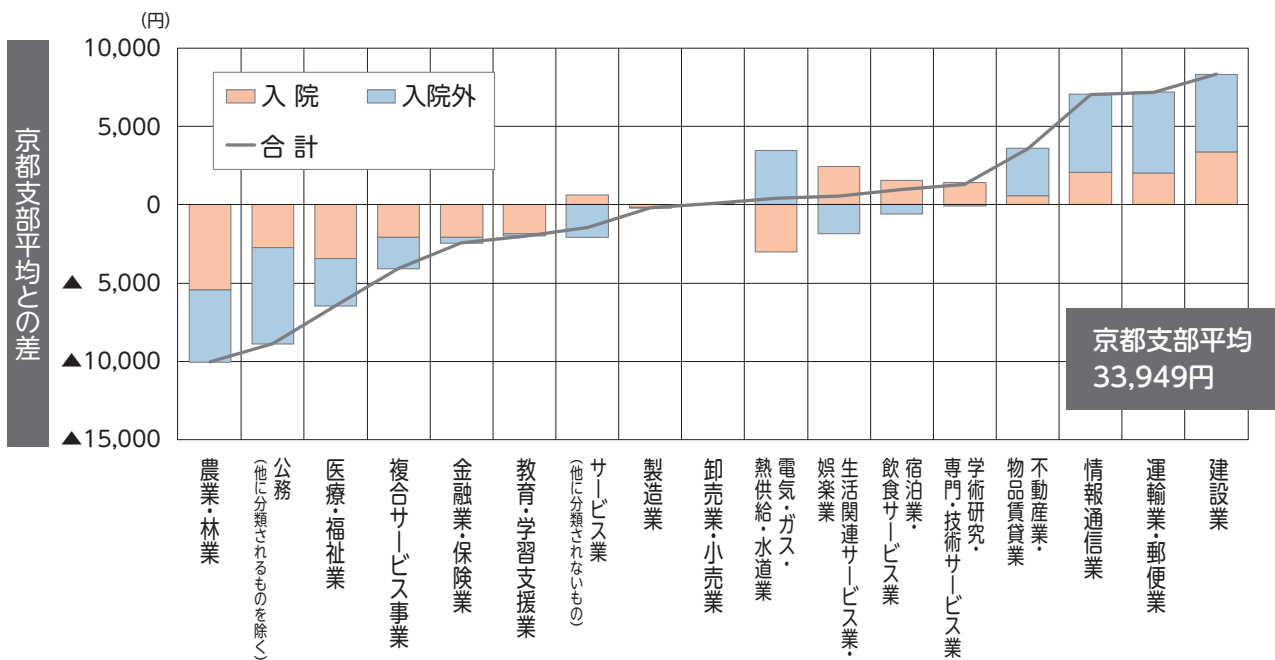
女性(年齢調整オッズ比) (2022年度)



業態別健康宣言事業所数 (2022年度)



業態別被保険者一人当たり生活習慣病医療費(年齢調整後) (2021年度)





全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

〒600-8522 京都市下京区四条通麩屋町西入立売東町 28-2 大和証券京都ビル 2 階
企画総務グループ

TEL 075-256-8636 FAX 075-256-8670

[受付時間] 8:30 ~ 17:15 (土曜日・日曜日・祝日・12月29日~1月3日を除く)